

第 75 回 愛知県高等学校総合体育大会 柔道競技  
兼 第 70 回 全国高等学校柔道大会 県予選  
兼 第 68 回 東海高等学校総合体育大会 柔道競技 県予選

実 施 要 項

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 2 共催 愛知県教育委員会
- 3 後援 (公財)愛知県スポーツ協会 (一社)愛知県柔道連盟
- 4 期日 令和 3 年 5 月 15 日(土) 11:00～ 男子団体・女子個人  
令和 3 年 5 月 29 日(土) 11:00～ 女子団体・男子個人  
※ 開始時間は会場準備の状況によって変更の場合あり。
- 5 会場 愛知県武道館 第 2,第 3,第 5 競技場  
名古屋市港区丸池町 1-1-4(TEL 052-654-8541)
- 6 参加費 個人戦、団体戦ともに 1 名 700 円(試合当日の受付で支払うこと)  
※ 個人戦、団体戦の両方に出場する場合は両方とも参加費を支払うこと

7 申し込先・期日

(1) 男子団体、女子団体

それぞれ 1 部ずつ所定の申し込み用紙(愛知県高等学校体育連盟のホームページの用紙)で下記の各支部長に申し込むこと。

※ 学校名の変更などがあるため、申込用の excel ファイルは必ず最新のをダウンロードして使用すること。(ver.6 が最新版)

※ 団体戦の申込詳細については、各支部長の指示に従うこと。

名 北	杉原大一郎(名古屋西高校)	4/20 締め切り
名 南	松下泰夫(名城大附属高校)	4/20 締め切り
尾 張	羽生裕司(滝高校)	4/13 締め切り
知 多	伊東朝樹(半田高校)	4/20 締め切り
西三河	古居義則(知立東高校)	4/16 締め切り
東三河	長谷川真樹(豊橋中央高校)	4/16 締め切り

(2) 男子個人・女子個人

① 申込方法・申込先

愛知県高体連のホームページに掲載してある所定の申込用 excel ファイルに必要な事項を入力する。そのシートを印刷したものに学校印を押す。excel ファイルはメールで、印刷した用紙は郵送で下記まで送る。

〒475-0903 半田市出口町1-30 愛知県立半田高等学校 伊東朝樹  
TEL 0569-21-0272  
E-mail asahiro111@gmail.com

※ 個人戦の申込について、メールでのデータ送信および郵送での書類提出の両方が期日内に行われない場合は受け付けされない。

② 申込み締め切り日

4/28(水) 必着(メール、郵送ともに)

団体戦・個人戦の申込において、規定の期日までに必要な書類やデータが届いていない場合は参加することはできない。

## 8 参加資格

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒。  
上記以外の学校の参加については、愛知県高等学校総合体育大会の参加資格に準ずる。
- (2) 愛知県高等学校体育連盟加盟校の生徒であり、全日本柔道連盟の競技者登録をしている者。
- (3) 学校長の出場許可のある者。(健康診断実施のこと)
- (4) 平成14年4月2日以降に生まれた者、ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混合は認めない。
- (6) 外国人留学生については、愛知県高等学校総合体育大会の参加資格に準ずる。
- (7) 転校後の参加については、転校後6ヶ月を経過していること。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、高体連柔道部長の許可があれば、この限りではない。

## 9 団体戦

### (1) チーム編成

- ① 男子団体のチームは監督1名、選手5名、補欠1名の計7名を持って編成し、1校1チームとする。  
ただし、県大会については選手3名以上で参加可能であるが、5名未満の場合は全国大会には出場できない。
- ② 女子団体のチームは監督1名、選手3名、補欠1名の計5名を持って編成し、1校1チームとする。  
ただし、県大会については選手2名以上で参加可能であるが、3名未満の場合は全国大会には出場できない。
- ③ 選手の入替え(選手変更)は選手変更届(校長印の捺印してある所定の変更届用紙)で1名のみ入れ替えができる。10:00~10:40までに選手変更受付に提出すること。ただし、必ず補欠を優先的に充当すること。(提出時間は会場準備の状況により変更の可能性あり)

### (2) 試合方法

- ① 男子団体戦は各支部予選を勝ち抜いた36校による学校対抗の点取りトーナメント戦とする。  
各支部からの出場枠は以下の通りとする。  
名北 4校 名南 9校 尾張 8校 知多 3校 西三河 8校 東三河 4校
- ② 女子団体戦は各支部予選に参加した学校による学校対抗の点取りトーナメント戦とする。ただし、支部予選にエントリーしていたが、やむをえない事情で支部予選を欠場した場合でも県大会には参加できる。
- ③ 選手配列は固定とする。
- ④ 補欠との入れ替え(オーダー変更)は、試合開始前までに会場係に申し出ること。ただし、一度補欠を入れた場合、再度入れ替えることはできない。

### (3) 試合規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- ② 試合時間は3分とする。ただし、決勝戦のみ4分とする。
- ③ 判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。  
※「僅差」とは技によるスコアが無い場合、または同等の場合に、指導差が2以上ある場合を僅差による優勢勝ちとする。指導差が1であれば、引き分けとする。
- ④ チームの勝敗の決定は以下の順で決める  
(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。  
(イ) 勝ち数が同等の場合、「一本勝ち」が多いチームを勝ちとする。  
※「一本勝ち」と「反則勝ち」は同等とする。  
(ウ) 「一本勝ち」の数が同等の場合、「技有勝ち」が多いチームを勝ちとする。  
(エ) 「技有勝ち」の数が同等の場合、代表戦を行う。代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。  
代表戦の判定基準も「技有」または「僅差」以上とする。技によるスコアが同等で指導差が1以下の場合、時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、指導の数が多くなった選手が敗者となる。

## 10 体重別個人戦

### (1) 出場枠

- ① 男子 各学校各階級 2 名までとする。ただし、以下のように 1 名追加枠を設ける。

令和2年度の尾張・名古屋・知多新人柔道体重別選手権または全三河柔道体重別選手権において、各階級ベスト 4 以上に残った選手のいる学校には、その学校のその階級に 1 名追加することができる。

- ② 女子 参加人数制限なし

### (2) 体重区分

- ① 男子 60kg 66kg 73kg 81kg 90kg 100kg +100kg  
② 女子 48kg 52kg 57kg 63kg 70kg 78kg +78kg

### (3) 計量

- ① 10:00~10:40 の間に行う。時間内なら何度でも計量できる。  
※ 計量の時間は会場準備の状況で変更の可能性あり。  
② 計量を行わなかった選手および計量をパスしなかった選手は失格となる。

### (4) 試合方法

- ① 体重別(7 階級)の個人試合とする。  
② 試合はトーナメント戦とする。

### (5) 試合規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。  
② 勝敗の決定は以下の通りを行う。  
技によるポイントのみがスコアとなり、最後にスコアが上の方が勝ちとなる。  
技のスコアが同等の場合は、準々決勝まで及び 3 位決定戦では指導の少ない方が勝者となる。指導差も無い場合は旗判定により勝敗を決する(従来の県大会と同様)。準決勝および決勝は、技のスコアが同等の場合、指導差が2あれば僅差勝ちとなる。指導差が1以下の場合には時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、指導の数が多くなった選手が敗者となる。  
③ 試合時間は 3 分とする。  
④ 同一選手の試合が連続する場合、準々決勝までは 3 分間のインターバルをとる。  
⑤ 準々決勝までの試合および 3 位決定戦の中で、両者反則負けとなった場合は、ゴールデンスコアを適用し必ず勝者を決める。ゴールデンスコアの扱いは上記②と同様とする。準決勝および決勝で両者反則負けとなった場合も、再度 GS から再開し必ず勝者は決める。

## 11 その他

- (1) 男女団体戦の優勝校および男女個人戦の優勝者は全国大会への出場権を得る。  
(2) 男女団体戦のベスト 4 の学校および男女個人戦の優勝、準優勝の選手は東海大会への出場権を得る。  
(3) 男子体重別個人戦は国体少年の部の愛知県一次予選を兼ねるため、各階級上位 4 名は最終選考会に出場する権利を得る。  
(4) 大会参加に際しては、監督あるいは顧問(引率教諭)の付き添いを要する。  
(5) 申し込みならびに計量等で不正が生じた場合、チーム全体の出場を認めない等のペナルティーを科す。  
(6) 審判については団体戦、個人戦ともに従来通りの 4 審制(主審 1 名、副審 2 名、ジュリー 1 名)で全て実施する。全ての試合会場において、ケアシステムを使用する。  
(7) 柔道衣については「全日本柔道連盟柔道衣規格」に適合した柔道衣(及び帯)を着用すること。柔道衣については、適合を示す「赤の IJF ラベルまたは JU ラベル」が取り付けられていること。帯については、適合を示す「赤または青の IJF ラベル、もしくは赤または黒の JU ラベル」が取り付けられていること。以上の規定を満たしていない場合は失格となる  
(8) 規定のサイズのゼッケンを背部に必ず縫い付けること。テープで貼ってあるだけのものや、マジックペンで直接柔道衣に記入してあるようなものは不可であり、失格となる。また、中学校の校名などが付されているものも不可とする。  
(9) 校名が変更となった学校については、ゼッケンは新校名でも旧校名でもどちらでも可とする。

- (10) 柔道衣に不備がある場合、リザーブの柔道衣が規定を満たしていれば出場できるが、必ず本人のゼッケンが縫いつけてあること。
- (11) 今年度は第2、第3、第5会場を使用するため、参加選手は会場準備に協力すること。詳細については、後日連絡する。

## 12 感染症対策

- (1) 参加生徒および部活動顧問の健康状態について
  - ① 生徒および顧問は、感染者および濃厚接触者でないこと。また、校内で新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が判明した場合は、保健所等の指示に従うこと。
  - ② 生徒および顧問は、大会当日検温を行い、37.5℃以上ある者は会場へ入場できない。
  - ③ 発熱が無い者でも、倦怠感、息苦しさ、咳、咽頭痛等の自覚症状のある者は会場へ入場できない。
  - ④ 引率顧問および生徒(選手・補助員)は、過去1週間分の「体調管理チェックシート」を学校ごとにまとめて、大会当日に受付に提出すること。(提出できない者は入場できない)  
※ 「体調管理チェックシート」は、この大会要項の最後に添付。
- (2) 会場の3密対策について
  - ① 大会会場へ入場できるのは、各学校の出場選手、補助員、引率者および大会役員・審判員のみとする。(保護者や出場しない部員、一般生徒、卒業生などは入場できない。)
  - ② 出場選手は各競技場内の観覧席で待機すること。待機する際は、お互いに十分な距離(2m 程度)を保って座り、大きな声での会話や応援は控えること。
  - ③ 開会式、閉会式は簡易的な形にして短時間で行う。
- (3) 引率顧問・役員・補助員生徒へ
  - ① 会場内では必ずマスクを着用すること。
  - ② 会場入場時には、設置してある消毒液で手指消毒を行うこと。
- (4) 出場選手へ
  - ① 試合待機時にはマスクの着用をすること。
  - ② 会場入場時には設置してある消毒液で手指消毒を行うこと。
  - ③ 試合の前後には、試合場に設置してある消毒液で手指消毒を行うこと。
- (5) その他  
詳細な感染症対策は、後日、高体連ホームページに掲載する。

